絵本太閤記

七編

八

伊13
1833
80

特 ヘ13
1833
80

續本朝圖記七篇卷之八

目録

李義信大破百本勢話

目録

波多野三河守大江李義信と戰ふ圖

明大將軍邪孩押蔚山話

邪孩憑を義信に明渡らる圖

和田芳長明軍と戰ふ圖

龜田大隅守良と明兵と血戰する圖

加藤清兵衛勇智雄明兵之軍威話

明軍蔚山の城を遠望する図

加藤清兵衛苦戦と軍奇と偽る図

島山合戦話

第上大九郎明の李如松を解せざ

私を折崩れ図

麻麦茅國麦蔚山の搦手を焼る図

島山合戦乃図

李如松石大破日本勢

秋もたけなわ九月の中旬なり朝鮮の王城

の西の方四百里二十日の程に迫る

近く押来るとて軍民它方へ逃惑ふ是よりして大王李昭も又王

城を開き西の方へ進ぜんとやうんぞ云ふ議し多く有て明の

李如松麻麦茅副將軍李如梅名の援兵を引率し京城へ来

陣し関門外へ屯営し日本勢に向ひ戰い退退け

豊秀吉より京城の人民悉く守備し難い敵を得て

勢も明軍多く王城へ押せると雲霞

流石に急に推寄せ難く其月も暮十月の比長伯の

谷山南の麓に陣せし冷五郎

言葉の秘の使者来り

李鼎臣
大日本
虎峰

鮮の軍の[illegible]人[illegible]を[illegible]軍船を使ひ日[illegible]運
[illegible]兵粮を集め刻へ送[illegible]この往来を遮り止め事既[illegible]
[illegible]備ゆ[illegible]地に入て時に即[illegible]を乏い頗味方
[illegible]踏[illegible]山名いまさ[illegible]るに内に登山道の近辺に軍とり
し来[illegible]時と[illegible]再び計略を変[illegible]王城に乱入[illegible]
遅きのみぐ[illegible]軍勢をまとめ引[illegible]浦田毛利を
始め諸将集り評議[illegible]何さま一先ず[illegible]退き要害に人[illegible]船軍
[illegible]崩し[illegible]の患[illegible]計策を[illegible]再び海に進[illegible]何の難き
[illegible]と[illegible]相議一決して一旦[illegible]軍をまとめ要害の地に退き
[illegible]先陣[illegible]蔚山城名[illegible]屯を構へ長い城名[illegible]陣し其外の諸将高州
[illegible]山。大丘。密陽。金海。東萊。泗川。[illegible]百里[illegible]

陣を布[illegible]岐名[illegible]築き[illegible]し[illegible]止る[illegible]朝鮮
水軍大将軍[illegible]長名い諸方の集り勢二万余と引率し[illegible]
らして日々船の往来を遮り頗る軍威をふるひ[illegible]日本の諸将[illegible]
[illegible]長名かく[illegible]の通路心[illegible]せたいでやおのれ[illegible]
崩[illegible]と浦坂中務[illegible]良宮内[illegible]毛利[illegible]
河[illegible]馬[illegible]で其勢都て二万余人[illegible]百余艘[illegible]
[illegible]の勢[illegible]出合両軍互[illegible]
[illegible]長名い朝鮮[illegible]智勇[illegible]
[illegible]士卒諸軍令を守[illegible]進退[illegible]
らじ大将の指揮[illegible]武い用き武い引[illegible]
き入且戦[illegible]退き[illegible]勢を引[illegible]

波多地
三河守
國

薩摩がたより其夜屋曲さろ船陣所にうんぬ
それが南へ出ると志せば夜深ひ寒に逢て暗くさろ
知らざる日本勢進むこと遠く退くこと知らざるの薩摩の大将
こいの人うり浦坂中勢ろ美い後陣の抱しが遥の歌のあ換出地の屋
曲を鳴り人ろ敵軍と戦ひ捕しあるべし俗人私引
えをやと行燈の小船の命して先ずく〳〵やはり船軍の
釧ざる日本勢は方ぶ引い敵方ぶ進ことろくの間の日本船ばりお
ろく皆兼薩の間へ入うろ敵の図と〳〵〳〵ろ敵の名七つ
八つ鳴るとの久しが巳方八面はしい勢ゆりる薩の火燃出て打節西南
の風吹しく出ろ海ろ焔くことなるびき不〳〵ろ鎌波抱びとし震
出西ろ屋小日本人こい翻韓人めぶ計略ぞ引ろ退けこと
船ろ敵人ろ船の通ろ敵ろ信度うろ況や烟の間のごく敵撫ろ面ろ
て東西と人命に況こいうふと鳴るくかぶふ巳方より出いよ
焔んろ焔ろ黒烟水ろ光て船天の中ろ人ろうびを中ろん
薩西ろ門ろ朝鮮人一人ぬけ入ろと呼ぶく日本船ろ振返
行濠ろ薩まろふ風兼の勇ろ乱ろ出いて弛き敵ろ新例さま
紀ろ者数ろ知らば源坂中勢ろ美兵ろ人ろくされいこそ歌の
謀計ろ焔ろ兼の中ろ実ろ味方の船を助けろと兵船
三十艘こきろ人べ進むろ船ろ朝鮮の大将ろ摩島人名右ろの薩
船ろ人ろくの兵船ろ大将の火炮悪くかけ兼べ源坂が船隊と日南
は二日ろ人船ろ歌せろ其言い百雷ろ電の裏くぶく日本の
兵船二十艘ろ海屋ろ方の源坂進むろ敵ろ

紅を〻〻き狂豫なるものはかり数りたる藪の中より日本の兵
紅地さえを碎くれ軍を破らむと欲軍血まさしく命うく
逃出るかの朝鮮の軍兵逃げはしこの間と俄に新たに実を取る紅の乱傷
の勢を知るべしあいや日本の諸勢一人も生帰る者いかしこ
日本紅十艘計釜山浦地名の方より芝一文字に漕出て
東の陽ろうたる朝鮮勢の正中へ面もふらず漕入く右の実き
左の如き雖ども日本の兵紅を拾ひ方く退らしめ退来る朝鮮
紅を〻〻食ひ〻〻命とかぎりに戦ひ之を追さま悪狐る
んどの日本勢と助るにやと両軍互に強き芝い肥前名護屋の
日本勢は三河守と云者也先度朝鮮征伐の砌脇腹のうまい
也しとく大友義統なるとたる古図の御朱印豊臣秀吉
紅を〻〻て是多年政ろうに属し居さしかるに今度の朝鮮渡海
を討亡して家の面目と雪んものと思て見悟してみるるかの
日本勢は帰国人が軍略に遁し出さしに大軍悉く討るべりしと
命と拾と面戦し終の味方の兵紅を取り出り退く心なく欲
る中に戦ひしが薄代の家臣七十余人と諸〻もとより家
討死しるいこの方〻しうる働き方の法図けるを以せ強ひ波
多地ぶ孫と法出さに新地名石と嬬りて又ぶる名代記ひ強ふさき
だ日本の諸大名の地が敗ひる地と冠と遁る釜山浦地名迄
退きしが日本勢の討死にる余人麻と豊多史と樊さるる人
也其数と知るべうに麦と靠臣名兵と周色るる孫吳が郷を得
うう〻〻其軍威ち震ひ〻〻ばが日本人張りと戦いと社出

明の大軍
邢洪
懼を
為して
盟約
と
なれり
國

び初を為せい悪うすんと雲くへ為陣と濃て度しく有うどと
けれ

明太祖邪孫掘岑蔚山

此時加藤主計頭清正蔚山城を攻陣せが士卒を命じて城と
他しめ籠城加藤清正湯を城やると其身い西生浦城を攻りく
と寄を城と造慨長く止るの用意を城せり他るふ其年十一月明
の太祖軍邪孫名い数十万の軍兵と引率し名ゝ朝鮮の国
ける鴨緑大河を渡り日月廿九日朝鮮の王城を攻る麦脇王名
戸外を出て逃と逃殿中を法じさまくと饗應に附る邪孫人名ト知
と他へく和寇と討の太祖孫を陸路と慶尚道八名の国へ押出さ
人民先想勢と三路に花い麦如極名と太祖孫と盧得功と董一元

誼。茅国器。陳演。陳大綱。人名名を為を為に方を麦の解生。名と
大祖と牛伯英。方時。彩鄭。對盧繼。陳愚聞。人名名を為を為に
中央い邪孫名づゝ大祖として高策。徂義訓。頼実。麦寧。麦
紀。進忠。呈惟忠。人名名を為を為に其外朝鮮の軍率と俳て其勢
都合十記万余人王城を擅を築き邪孫人名擅を登り麦と換
て天地を揺り動大祖と良を為を為に盟約を為を為を軍を
進めく慶州国名として敗国せり計日本の諸将い大明の大軍蔚山
長宅利の居城を完戸彼者等を囲花弾寄三人を勢を率て蔚山城
城を入く戦を助んく長湯名まで出るゞ先鋒のみ撰を向
物馴る介候六人を幼先の後に出く人せしゆるぶ

芳長
明軍
戦ふ
図

朝鮮の大将惣人名高策人名数万の軍兵を率し梁山地名の南へ出張
し白地名と公領地名の通路を切んとする小西芳長弟が竹候と
智の日本の船の者よ遊ばしとて頻こそ明の兵卒勝の
おそく驚て六人の斥候を悪くお敗し朝鮮芳長大きに小いら
ず然今年候の兵多く殺さんし蔚山地名の城へ入ば後の朝
鮮といふせん先御ゆくは敵よりたゞ弱し き戦をうんとて
勝をゆしおそんと民家古田地を止め実度の河まで武士の卒
えんていへども明兵元来大軍なるゆえ一戦く小勝をんて討ら
んい卵をんて大石ふ投るがごとしいるぐらよく勝ん得や只をゝやふ
蔚山地名へ入く城と全く守るべしと諸人と芳長今年二十二歳
血気盛んの勇と好める壮士なるしば敗北なる人が諸人と皆ら
びたる人屈と戦場へ捧げるも歌とうとえまんは諸
とく自ら鎧を押立ゆくをとめて無出せば完戸古田も朝鮮を討
てば悪うるうんと思く他をとろう梁山地名の方へ推移るは附明
兵ものの日本勝の出るうんとく代押来り両軍途中にて行合
う朝鮮芳長先と見へく諸しもらんびゝと鳴ひく実えれい
明兵日本勝の小勝なる所偏う八方より元西二人も除さと諸
と既して新手と芳長ひの自槍よりをゝた
近者の明兵七八人よりく内の実例に先の乱と得て一の人
卒勇にうく戦よそ明人奉てお遣しく籠る所度路の
田の両勝附かいはとうまく小縁故一度鳴くく
の中へ面もうく切て入れ後の実き左右れ

羽兵
と血戦を図る

のたまふを聞て朝倉が軍兵是を力を合せ〻七度斗
と公道寺の内に敵と知て味方の討死しつゝも小勝
いひ落て深く追て勝く若多くしれば今い見せるを引えだしと申合せ
敵ひ見て明兵元来だ軍なれば討死を夏目吉内兵衛
と入替て戦ける朝倉芝長が長で一世のたゝかひとり引
久していた軍と退まつり退きて行たりと云て戦ひる
が附殺ケ原の落ひと沙ひ先にゆく五五ケ所に竜田大隅
芝長が馬の前に来りよしるを手懐の戦ひを御命と落し強りんい
に勝ふこそゆ某後殿仕つんり引せるといひ捨〻大刀の槍を馬より
打ふり明兵の退来る中へ突入て近き者を槍の柄を叩きふせ敵い
中ふる是をとけ為ようせ〻悪戦に明の郡ゆ小安川仁人栗得

高人名〻ふ者を芝と力〻戈をまはして尤おけ詰〻ふ竜田の
せび槍ひ振り〻ひと力〻ひ〻ど実を栗得高人名を馬より下て突
高人名勢ひを除て敵例をれば安川仁人名ふるひ恐を馬を打て逃ふる
此附ふや蔚山名の城を迫近く戦ひ引ける武城中より加勢
馬を流ふるふ〻く〻ふ人〻ふ人〻ふ人〻ふ日本雑のひ〻ふ見源ふ軍を
るとこそ見ゆ是を海の下い朝倉を田が級とゝゆるを討て出て助く
ぶしとゝ〻ひ〻ひ〻徳地〻手元清内砂美五本勇又百余人道兵
ふ乗て城戸を開ひく捨にりんで弛ふる朝倉を田が半ふて
附ふや軍兵ふ〻労を今い清ふも討死ふひ定めて戦ふ下の蔚山
ふ是ひてふる明兵を三又後ふ打破つ引ふ勇を
図ふ
ふ兵ふ大軍ふはふ〻ふ敵ひふ力ふ蔚山

明の大軍蘇山の城を遠き國

の大将[illegible]く討ひ[illegible]ぐそと軍とまどろ引さうの朝鮮
[illegible]の面は[illegible]小強い打ちたもつ蔚山の城に入る[illegible]
後巻守り明軍と[illegible]朝鮮勢と後に蔚山城に入り[illegible]
[illegible]間[illegible]王[illegible]城に籠つ[illegible]

加藤清正[illegible]明兵之軍風

備え明の大軍蔚山城[illegible]
[illegible]して防御の[illegible]城堅固[illegible]
[illegible]を固め完戸後巻守り[illegible]左右の門い毛利秀元の兵として
守らせを田花弾守り城中の遊軍[illegible]後巻[illegible]弱き方を助けしむ
のごとくなりてそ後り[illegible]
上清正常に仁恵[illegible]朝鮮の人民[illegible]

く百姓なるを憐き清正の弱朝鮮の苦き政より苦んより免れ
軍の幕下に成りぬい郡て身と安んじる小後はしてゆえ
[illegible]諸方の百姓なるを山蔚山に集りて耕といつるを[illegible]
をもとして山城中の人民二万余人は及ぶ小大明の軍兵攻
[illegible]の百姓ども大きに驚き元敵に活城中へ[illegible]
抑大明大軍と起しく[illegible]朝鮮と保ん
ぜんがあるなり[illegible]と朝鮮の民[illegible]て郡て大明の[illegible]
[illegible]なる[illegible]城中に逆[illegible]て[illegible]
[illegible]実に清正の仁徳なり[illegible]て何るんやかくせどく困る[illegible]
百姓二万余城中に[illegible]孫[illegible]
[illegible]明の大将軍[illegible]王城[illegible]諸の

加藤清正と
芳長と
軍者と
謀る
圖
文蔚
十五

の大軍附十二月の厳寒に能く蔚山の城を守る小
城と十重二十重に囲み遍く遍く遍しと雖も
他の方の勇猛なる日本流の勇猛なる軍が籠りし城を攻
き合戦の度ごとに枕を敵にそむく大軍と一度に蔚山城の四方を
麻の如く揚陸に擂鼓人馬の大なる其中より三万升の道率と率
て城際近く推寄せ間の麦畑の麦を敵ちうけ喰
き呼んで麦とる城中の兵士是を見て見暗のうるんどもけ大軍の
所を冷しあるを呼びくしの軍兵やとうの先へ着あるうに加藤
清兵衛勇智備へ着るれば軍勢長の四ひやくるい冷歌彩さ
る勢素門く囲みの隙合さる間の某軍と率て駆て出る亜の行
と歌味方よりんせんに二つは明兵の戦兵の寡きを侮らば
二つは明方の小勢勇気を励まし城のもり囲る
ば寡方長なと見るはじ戦と侮る討て出一番あてく敵すんと西
人僅に六百余人の強弱と侮へ人の隙門とうと用き一度囲とと
るや居や面もろに明兵の心中へどりと一日の寡入り其題
きの機雷の落ゆるごとく明兵敵て用をとぐめくるる者ども
一ぢへもさへて攻の方へ崩れ引を退治く寡立るみ討
ろく者敵と紛明の趣軍を見るく八方より囲み討しに
加藤是を見ろくと引上げ城戸を固める続を敵る
両のど明兵もて急る麦るの旅ぬ日方と囲で寄居ろ

合戦

麦を蔵

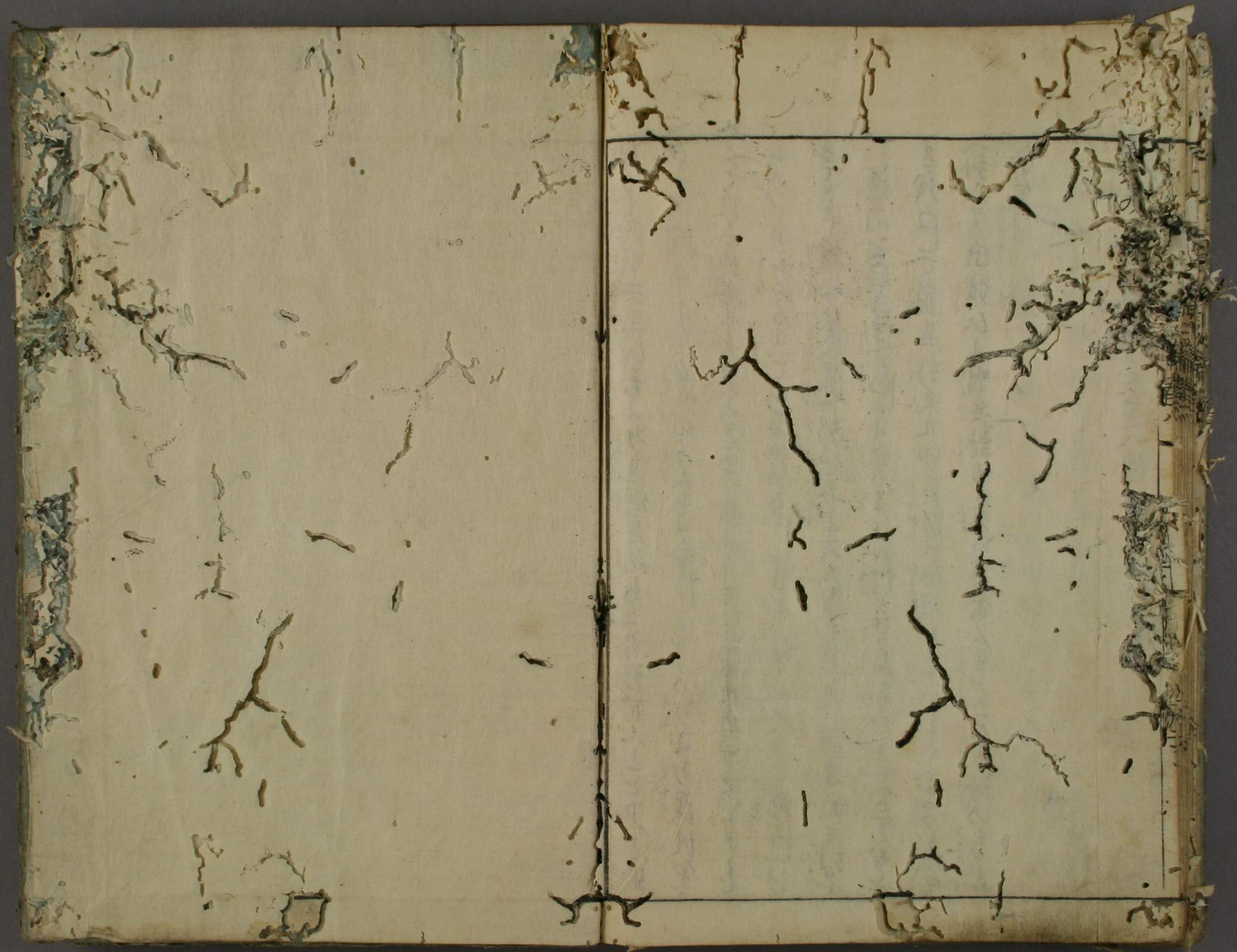
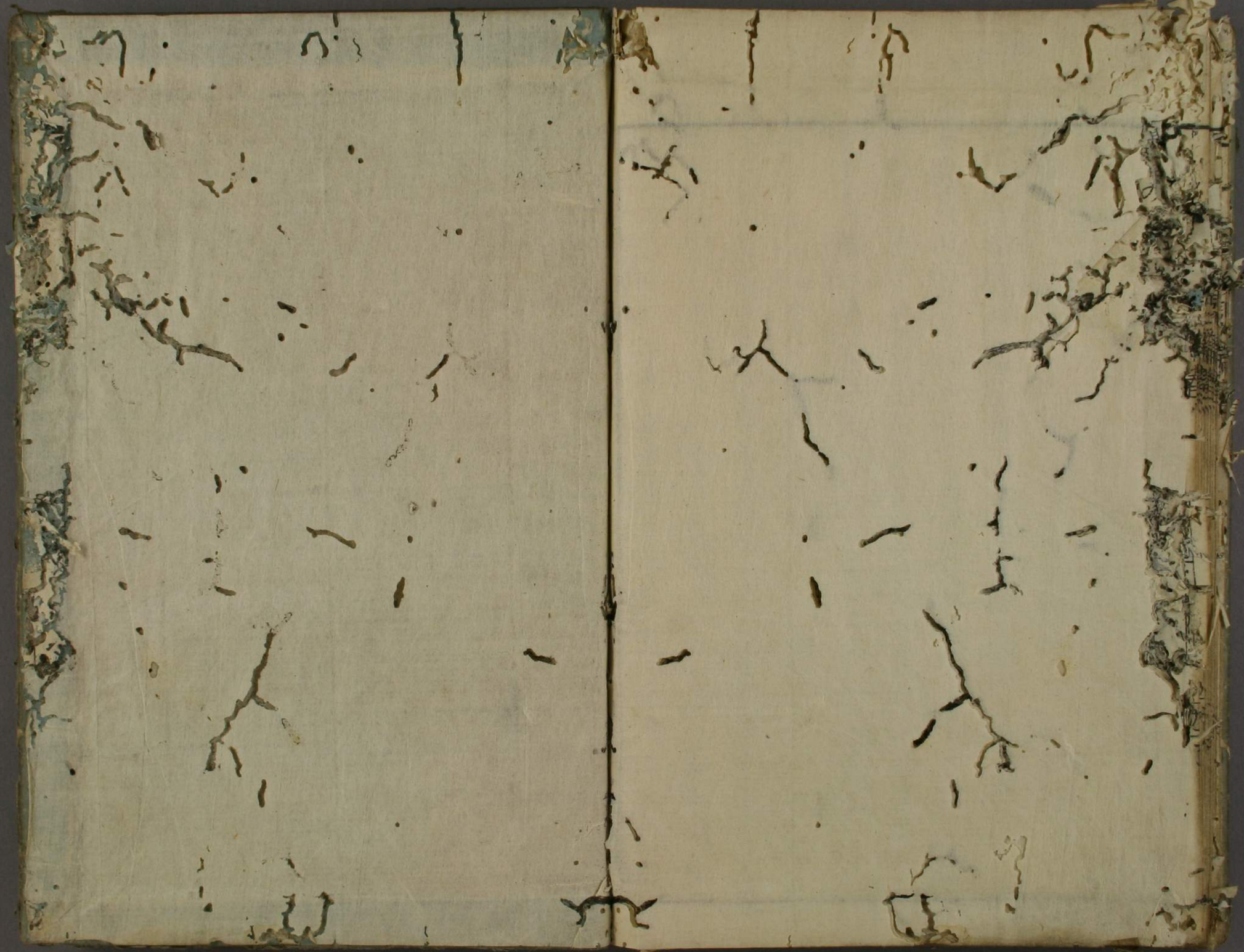
三郎分の鴻山城あり城厳石陣組登る

井上
大九郎
羽の
変若春
解せず
園
沢

[illegible]筑の要害なり山岳を攀へ加茂川を[illegible]
家[illegible]と大内郎毛利勇元の士卒と併せ蔚山[illegible]と号附[illegible]龍
て寄手の接戦をなす[illegible]山[illegible]の[illegible]大河流をめぐり蔚山[illegible]と
の間を流れ明の軍ね[illegible]方春[illegible]解[illegible]二人三[illegible]の軍卒を[illegible]
け大河を[illegible]め蔚山[illegible]の中は住民家[illegible]焼[illegible]その
烟のまぎれて蔚山[illegible]を奪落さんと方々[illegible]落山[illegible]の
[illegible]と[illegible]九郎[illegible]砲の者三百余人[illegible]
大筒を並べ[illegible]ら[illegible]て敵[illegible]
て舟を[illegible]七人[illegible]傷の者たちまち[illegible]百余人大ね[illegible]
[illegible]人解[illegible]と既に溺死をべきと土卒御舟を助けのせ[illegible]
[illegible]に逃げ帰りぬ[illegible]器人の両大[illegible]

命人の援兵を率[illegible]方春[illegible]解[illegible]
[illegible]無[illegible]中合せ[illegible]計策[illegible]民家の焼[illegible]
山[illegible]の[illegible]と[illegible]柵[illegible]
先[illegible]と登り来る[illegible]大ね[illegible]
勇士[illegible]明兵の[illegible]家[illegible]焼[illegible]砲の[illegible]百余
人を[illegible]人[illegible]
[illegible]
[illegible]

蔚山の城を攻る圖

亟く其の[illegible]せ山[illegible]討てうらが怒
[illegible]備れるを見て麻美人名を大ゐとし芳岡美濃と
[illegible]郡て[illegible]方余人[illegible]山地名を押寄せ四方きつまて
[illegible]る城ゐ丹之丞九郎[illegible]と[illegible]めて[illegible]の大軍
をもつて[illegible]引よせけるへべる鉄炮の筒を[illegible]両のごとく打[illegible]
明兵矢[illegible]に二百人斗[illegible]を乱して[illegible]側さる麻美人名を[illegible]
きふ始り拙き味方のみ[illegible]る打揚と[illegible]き矢先と[illegible]
亟三[illegible]押のぼ[illegible]金鼓を打て励[illegible]て先[illegible]進明兵
[illegible]と[illegible]指を[illegible]と[illegible]の[illegible]奉[illegible]登[illegible]元来[illegible]の
[illegible]れ[illegible]道狭く屈曲して容易城際[illegible]列[illegible]嗔きつ[illegible]
[illegible]る[illegible]城中より大木大石[illegible]雨の[illegible]

はり[illegible]明兵再び[illegible]打[illegible]側[illegible]記[illegible]者数百人と[illegible]
く[illegible]城中より鉄炮の[illegible]むる命じ[illegible]ひ打[illegible]
こそ[illegible]武[illegible]の[illegible]武者[illegible]遠近の[illegible]
らく[illegible]打[illegible]ぶ[illegible]日本人の[illegible]亟て恐[illegible]け
[illegible]推合突合逃[illegible]と丹[illegible]大九郎三百余人の道兵と[illegible]
し城門を開き逆[illegible]突[illegible]山が何[illegible]なるべき人なり
[illegible]して崩[illegible]紀大九郎長[illegible]亟周[illegible]
[illegible]引[illegible]山[illegible]明兵討[illegible]者八百余人[illegible]後の[illegible]石